

2008年版

消防年報

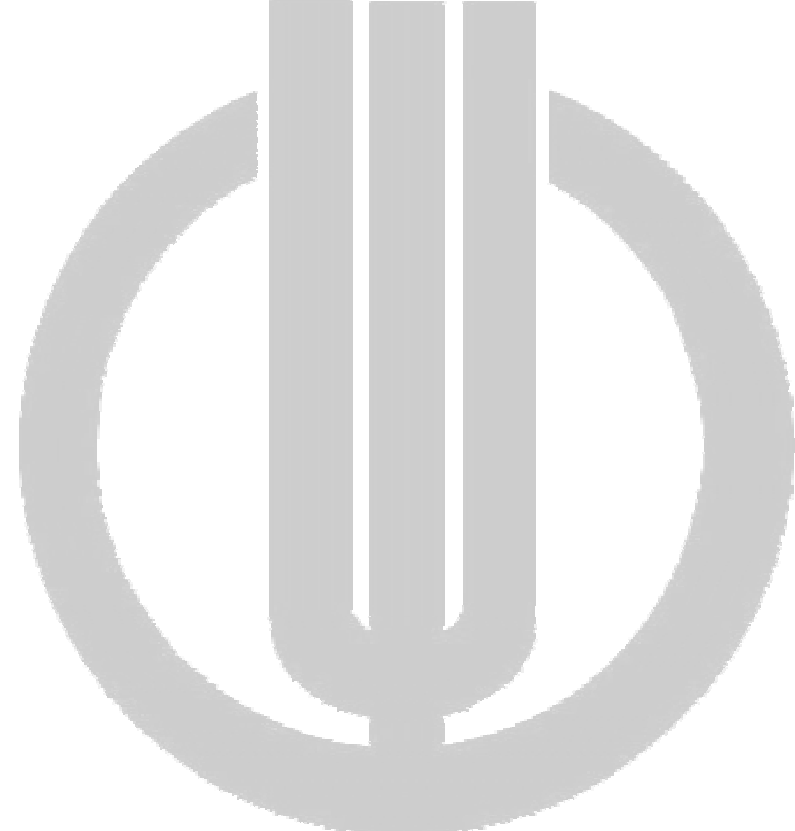
土岐市消防本部

土岐市民憲章

わたしたちは 長い歴史と伝統をもつ 「土と炎」の土岐市民です。

わたしたちのまち は 先人の創造と努力によって築かれ、世界と結ぶ「美濃焼のまち」として発展してきました。

わたしたちは 土岐市民であることに誇りをもち、文化の香り高い産業都市のしるべとして 市民憲章を定めます。

- 
- 1 自然を愛し 美しい土岐市をつくりましょう
 - 1 きまりを守り 明るい土岐市をつくりましょう
 - 1 健康で働き 豊かな土岐市をつくりましょう
 - 1 教養を高め 伸びゆく土岐市をつくりましょう
 - 1 力を合わせ 住みよい土岐市をつくりましょう

は じ め に

この年報は、土岐市の消防の現況と平成 20 年中における火災予防や消防活動のあらましを集録し、消防行政に対して広く皆様の理解を得るために編集しました。

目 次

消 防 情 勢	5
土岐消防の歩み	6
平成 20 年の主な事業等	14
土岐市消防本部・消防署組織機構図	15
事務分掌	16
消防予算の概況	18
消防吏員の現況	18
年齢別及び階級別消防吏員数	18
在職年数別消防吏員数	19
職員技術資格取得状況	20
消 防 団	21
消防団の組織図	22
年齢別及び階級別消防団員数	23
在職年数別消防団員数	23
消防団出動状況	24
消防ポンプ自動車等の現有数(消防団)	24
ききょう分団	25
消防音楽隊	25
警 防	26
消防車両の配置状況	27
基準消防力と現有消防力の比較	28
救助資機材保有状況	29
消防水利の状況	30
予 防	31
防火対象物数の状況	32
消防用設備等点検報告実施状況	33
消防同意状況	34
防火対象物の防火管理者選任状況	35
危険物施設数及び予防査察実施状況	36
危険物施設許可・届出状況	36
予防事務処理状況	37
消防広報	38
通 信	39
消防無線及び火災通報施設の状況	40

緊急通報システム受信状況	40
119番受信状況	41
災害覚知種別状況	41
救急医療情報システム案内状況	42
火災・救急・救助	43
5年間の火災件数	44
平成20年中の火災状況	45
月別火災件数	46
曜日別火災件数	47
時間別火災件数	47
出火原因別火災件数	48
出火原因別損害額	48
地区別火災件数	49
地区別損害額	49
5年間の救急出動件数	50
月別救急件数	51
地区別救急件数	51
時間別救急件数	52
曜日別救急件数	52
年齢別搬送人員	53
性別搬送人員	53
応急手当普及啓発活動の実施状況	54
5年間の救助活動状況	55
気象統計	56
気象状況	57

消防情勢



土岐消防の歩み

明治

13年	6月	土岐郡浅野村（現肥田町浅野）青年消防組を結成
14年		土岐郡肥田村中肥田組を設置
16年		“ 上肥田消防組を設置
20年		土岐郡駄知村北東部を北組と称し、消防組を組織
22年		泉村消防組を創立（久尻村、大富村、定林寺村合併）
24年	10月28日	濃尾地震被害
25年		定林寺消防組（泉村）を組織
“		土岐郡下石村消防組を設置
26年		土岐郡駄知村南西部に西消防組を設置
“		土岐郡下石村阿庄部、清水部、神部（山神）各消防組を設置
27年	2月9日	消防組規制発令
28年	4月26日	下石消防組公設許可、総員297名、組頭、加藤逸三
“	5月3日	土岐津消防組公設許可
“	6月28日	泉村消防組公設許可
“	7月5日	駄知消防組公設許可、総員121名、組頭 籠橋休左衛門
29年	1月20日	妻木村上郷武設置
36年		土岐郡鶴里町柿野消防組を設置
37年		日露戦役に組員多数が動員下命され、非常な減員
38年		肥田村消防組を設置（公設）組頭 宮川助九郎
39年		柿野消防組（現鶴里町柿野）公設許可
“		肥田村山田房次郎宅落雷にて出火、2名死亡
44年		土岐郡東部3ヶ町村総合演習、土岐津町及び浅野にて行う。

大正

2年		土岐郡曾木村消防組（公設）を設立、3部120名、組頭 伊藤階
3年		鉄骨製火の見櫓各所に立ち始める。
6年	11月	模範優良組員、県知事から表彰される。駄知消防組 正村敬一郎（県表彰の始まり）
12年	9月1日	関東大震災、中央線土岐津駅（現土岐市駅）にて避難民の慰労に努める。（9月6～15日）
13年		多治見署管内一斉防火デーを執行
“	10月	大水のため、肥田川橋流失

昭和

2年		模範消防組視察に派遣、駄知消防組小頭3名（静岡県小笠原郡山口村）
3年		山東事変 組員多数に動員下命
10年		下石少年消防隊を設置、高等科生徒130名で組織する。

13年		防空演習、講習会（防空、防毒施設、灯火管制実施方法）各地で行われる。
〃		組員の応召相次ぐ。
14年		〃
〃	4月 1日	消防組を警防団とし改称して発足
16年		大東亜戦争起こる。
〃	7月 11日	豪雨による大水害（妻木川、肥田川）被害大、肥田全木橋流失
19年	12月	鉄骨製火の見櫓を金属回収のため供出
20年	8月 15日	大東亜戦争終わる。
22年	4月	国鉄土岐津駅前（現土岐市駅）大火災
〃	4月 30日	警防団を消防団と改称して発足
〃	12月 23日	自治体消防誕生、消防組織法交布
26年	3月	駄知消防団、消防功績者 白石 翁の消防記功碑を建てる。
30年	2月 1日	土岐市誕生、旧8ヶ町村の旧町村名を呼称し、8消防団として発足
31年	11月 20日	消防機構の統合改革について、岐阜県知事に助言を要請
〃	12月 20日	消防機構の統合改革について、岐阜県知事から改革（案）が示される。
32年	4月 1日	改革（案）に基づき、当市消防団を4地区に区分けし、第1地区（土岐津、肥田、泉）第2地区（下石、妻木）第3地区（鶴里、曾木）第4地区（駄知）として発足
〃	8月 8日	東濃地方に集中豪雨が襲う、出水にて被害甚大、防御復旧に活躍する。
〃	11月 18日	西陵中学校火災、全焼
33年	4月 29日	第7回岐阜県消防操法大会が開催され、鶴里分団が3位入賞（美濃加茂市）
34年	1月 27日	消防団組織を町別8地区団に改めることを決定
〃	4月 3日	新編成の8地区団として（町名冠称）発足する。
〃	9月 26日	伊勢湾台風来襲、下石小学校等倒壊。警防復旧に努める。
35年	4月 29日	第9回岐阜県消防操法大会に鶴里地区団と曾木地区消防団が出動、曾木地区消防団が準優勝し、中部7県代表に選ばれる。
〃	8月 20日	上記大会、静岡市にて開催 曾木地区消防団出場
36年	4月 1日	8地区団を8分団として、土岐市1団に編成。初代団長 塚本真澄
37年	5月 11日	土岐市消防団音楽隊を創設、全市を披露演奏
39年	4月 1日	昭和40年4月を期して、消防本部・消防署の開設を定め、諸般の事務を開始する。
〃	5月 1日	消防職員予定者を11名採用、岐阜県消防訓練所へ派遣
40年	4月 1日	土岐市消防本部・消防署と西部・駄知の2分署が発足。職員36名 初代消防長 二宮安徳（市長兼職） 署長 鈴木寛が就任
	4月 17日	妻木町山林火災、市有林3,000アールを焼く。隣接市町村の応援を受ける。

41年	3月20日	西部分署庁舎竣工。職員14名、消防車2台配備
"	4月1日	消防相互応援協定締結（多治見市・瑞浪市・土岐郡笠原町）
"	12月6日	救急業務を開始する。土岐ロータリークラブから救急車（ロータリー号）の寄贈を受ける。
42年	5月3日	駄知分署庁舎竣工。職員14名、消防車1台配備
"	7月9日	集中豪雨市内に被害をもたらす。（三共橋流失）
43年	7月26日	岐阜県総合防災訓練が土岐市において行われる。
46年	4月29日	第20回岐阜県消防操法大会が土岐市青年の家にて開催される。
47年	2月1日	消防相互応援協定締結（御嵩町）
"	6月16日	泉中学校火災
"	7月13日	東濃地方に集中豪雨襲う、被害大。東濃鉄道土岐川鉄橋が流失
"	9月28日	全国消防救助技術大会（東京豊島園）水平渡りに出場し、入賞する。
"	11月1日	第18回岐阜県消防大会において知事表彰を受ける。（知事旗）土岐市消防団。（県婦人防火クラブ協議会長表彰）鶴里町婦人防火クラブ。
48年	9月3日	中央自動車道、土岐インターチェンジ開通に伴い、救急業務を担当
49年		消防職員定数63名となる。
51年	3月6日	肥田中学校火災
55年	3月5日	土岐市消防団、消防庁長官表彰を受ける。
"	8月3日	第29回岐阜県消防操法大会が揖斐郡谷汲村で開催され、鶴里分団が敢闘賞受賞
57年	8月8日	第31回岐阜県消防操法大会が羽島市で開催され、鶴里分団が9位入賞
58年	2月1日	消防相互応援協定締結（可児市長・可茂消防事務組合管理者）
"	9月18日	土岐市消防音楽隊20周年記念演奏会（文化プラザ）
"	10月9日	岐阜県消防協会旗受賞審査検閲（泉西小学校）
"	11月26日	市内自警団にハンドマイク配備（財）自治総合センター寄贈
59年	5月27日	土岐市大規模演習実施
"	8月9日	第33回岐阜県消防操法大会が古川町で開催され、鶴里分団が9位入賞
"	10月10日	救助工作車に照明装置を装備
60年	11月1日	岐阜県消防らっぱ大会及び競練会に参加（美濃加茂市）
"	12月18日	市内自警団に団旗及び誘導警戒ロープを配備
61年	4月30日	消防団8分団に投光器8台配備
"	6月1日	妻木町日向山地区消防業務覚書締結（多治見市）
"	6月10日	市防災行政無線局開局（屋外用子局119箇所）
"	6月12日	複写機1台（署）優勝旗1旗（団）を土岐市危険物安全協会から寄贈
62年	1月1日	東濃地区消防相互応援協定締結（多治見・瑞浪・恵那・中津川各市長 恵南消防組合・恵北消防組合各管理者）
"	1月1日	県下広域消防相互応援協定東濃ブロック覚書（多治見市・瑞浪市・恵

		那市・中津川市・恵南消防組合・恵北消防組合各消防長)
"	1月19日	市内の言語障害者に119番通報用ファクシミリを設置
"	8月30日	防災講演会を実施(文化プラザ)
63年	6月10日	土岐市危険物安全協会から軽自動車1台寄贈、駄知分署へ配備
"	8月26日	第4回全国婦人消防操法大会に岐阜県代表として、鶴里町婦人防火クラブが出場(横浜市)
"	10月1日	消防業務相互応援協定締結(愛知県藤岡町)
平成		
元年	1月16日	日本自動車協会から救急車1台寄贈、本署へ配備
"	3月6日	消防庁長官表彰旗受賞
"	3月10日	水槽付き消防ポンプ自動車1台購入、本署へ配備
"	4月1日	岐阜県広域消防相互応援協定締結(県下各市町村町)
"	5月20日	土岐市危険物安全協会から軽自動車1台寄贈、西部分署へ配備
"	8月6日	第35回岐阜県消防操法大会が高山市で開催され、下石分団が出場し8位入賞
"	8月17日	東濃西部相互応援協定に基づき、大規模救急事故訓練を実施。近隣7消防本部の隊員が参加
"	9月20日	9.20豪雨、台風22号の接近により東濃一円に大きな被害を出した。当市では、460余世帯に被害が出て約17億9千万の被害を出し、災害救助法が適用された。
"	11月1日	第10回岐阜県らっぱ競練会が土岐市で開催
2年	6月29日	土岐市危険物安全協会から軽自動車1台寄贈、本部へ配備
"	8月14日	土岐市防災センター及び新消防庁舎起工式
"	9月1日	土岐市消防団内閣総理大臣表彰を受賞(平成元年9月の台風22号による豪雨災害における水防活動の功績)
3年	1月31日	水槽付き消防ポンプ自動車1台購入、駄知分署へ配備
"	4月1日	岐阜県広域消防相互応援協定(県下各市町村町)
"	5月23日	第29回全国消防長会 危険物委員会を当市で開催
"	8月4日	第40回岐阜県消防操法大会が多治見市で開催され、下石分団が出場し8位入賞
"	11月13日	土岐市防災センター、消防庁舎竣工式(15日から業務開始)
4年	1月13日	水槽付きポンプ自動車1台購入、西部分署へ配備
"	1月26日	東濃西部相互応援、救助技術訓練を当市で開催
"	7月17日	救急実習練習用モデル、土岐市危険物安全協会から寄贈
"	8月9日	第41回岐阜県消防操法大会が岐阜市で開催され、肥田分団が出場し10位入賞
"	11月1日	岐阜県消防大会、らっぱ競練会が養老郡上石津町で開催され、東濃地区を代表して当市らっぱ隊が出場
"	11月13日	消防庁舎竣工1周年記念行事として、消防職・団員作品展等、諸

		行事を実施
5年	8月 1日	第42回岐阜県消防操法大会が美濃加茂市で開催され、鶴里分団が 出場し準優勝
"	8月26日	岐阜県婦人防火クラブ指導者研修会を文化プラザで開催
"	10月12日	救急救命士養成所へ1名派遣、6年3月12日まで。
"	11月13日	消防フェスティバルを本署で開催
"	11月14日	土岐市消防団、岐阜県知事竿頭綬を受賞
6年	1月20日	土岐市危険物安全協会、広報用カメラ3台、救急教材ビデオ6巻寄贈
"	1月25日	東濃用水配管破裂、東濃3市1町が断水、約6万世帯12万人に影響
"	3月19日	第1回消防音楽フェスティバルが京都市で開催され、土岐市消防音楽 隊参加
"	3月28日	弱者緊急通報システム運用開始
"	5月 9日	土岐市危険物安全協会から軽自動車1台寄贈、駄知分署へ配備
"	9月 4日	土岐市大規模防災訓練湯水のため中止
"	11月 5日	消防フェスティバル及び防災講演会を開催
"	12月	小型動力ポンプ付き水槽車購入、本署へ配備
7年	2月7~11日	兵庫県南部地震の余震に係る火災対策支援第1次として職員3名、水 槽車1台派遣
"	2月15~19日	兵庫県南部地震の余震に係る火災対策支援第3次として職員3名、水 槽車1台派遣
"	4月 1日	高規格救急車(ハイメディックとき)救命士1名で運用を開始
"	4月 1日	防災係が消防本部に移され、業務を開始する。
"	8月 6日	第44回岐阜県消防操法大会が大垣市で開催され、曾木分団が 出場し、5位に入賞
"	10月 5日	救急救命士東京研修所へ1名派遣、8年3月15日まで
"	11月12日	消防フェスティバル及び防災講演会を開催
8年	2月15日	社団法人 日本損害保険協会から救助工作車寄贈、本署へ配備
"	8月 4日	第45回岐阜県消防操法大会が中津川市で開催され、下石分団が 出場し、5位に入賞
"	9月17日	救急救命士名古屋研修所へ1名派遣、9年3月18日まで
"	10月 1日	土岐市危険物安全協会から職員用剣道防具16組寄贈
"	10月 2日	土岐市ライオンズクラブから防災指揮車1台寄贈、本部へ配備
"	11月 6日	消防フェスティバル及び防災講演会を開催
9年	2月 4日	地震に関する防災講演会を土岐市防災センターで開催
"	4月 7日	災害時の応援に関する協定を静岡県焼津市と土岐市で締結
"	6月 3日	土岐市危険物安全協会から水防用自動車1台寄贈、西部分署へ配備
"	8月 3日	第46回岐阜県消防操法大会が各務原市で開催され、駄知分団が 出場し、5位に入賞
"	9月 1日	緊急応援生活物資供給の協定を市内の大型小売店3社と締結

	10月5日	消防団活性化事業の一環として、消防団レインボーブリッジパーティを愛知県安城市で開催
	11月8日	消防フェスティバルを開催
	11月21日	消防用高所作業車購入、本署へ配備
10年	4月1日	消防相互応援協定締結（愛知県瀬戸市）
	4月1日	岐阜県防災航空隊へ職員1名派遣 12年3月31日まで
	4月7日	救急救命士九州研修所へ1名派遣、10年9月17日まで
	4月14日	南消防署進入路まとい橋竣工
	6月11日	土岐市危険物安全協会から査察車1台寄贈、消防本部へ配備
	9月1日	消防相互応援協定締結（愛知県春日井市）
	10月7・8日	岐阜県緊急消防援助隊訓練（可児市）に参加
	10月28日	可搬式消火装置積載自動二輪車（赤パイ）購入、北消防署へ配備
	11月6日	土岐市織部ライオンズクラブから指揮車1台寄贈、消防本部へ配備
	11月15日	消防フェスティバルを浅野緑地で開催
	12月15日	化学消防ポンプ自動車購入、北消防署へ配備
11年	3月24日	南消防署・南防災センター竣工式 4月1日から業務開始
	4月1日	土岐市地域消防防災活動協力員69名を委嘱、活動開始
	6月30日	大雨により市内各地において水害が発生する。
	8月1日	第48回岐阜県消防操法大会が上宝村で開催され、肥田分団が出場し優秀賞
	11月13日	消防フェスティバルを浅野緑地で開催
	12月17日	高規格救急車を購入、南消防署へ配備
	12月24日	電源照明付き全自動小型動力ポンプ積載車を妻木分団に配備
	12月31日	コンピュータ2000年問題に対応するため職員、消防団員が警戒体制をとる。
12年	3月5日	第1回春季火災予防剣道大会を開催
	4月17日	市議会議員災害危険箇所を岐阜県防災ヘリコプターにて視察
	4月21日	岐阜県防災航空隊、土岐市総合病院、消防署合同救急搬送訓練を実施
	5月14日	応急手当の重要性を広くひろめるためのボランティア団体である『レスキューハート・土岐』を設立
	6月20日	市内の工場にて放射性物質（モナザイト）が検出される。
	7月30日	第49回岐阜県消防操法大会が養老町で開催され、鶴里分団が出場し敢闘賞
	9月11日	市内各地で大雨による水害が発生
	10月5日	救急救命士九州研修所へ1名派遣、13年3月26日まで
	11月12日	消防フェスティバルを開催
13年	1月31日	消防ポンプ自動車購入、南消防署へ配備
	3月4日	第2回春季火災予防剣道大会を開催
	3月18日	南消防署濃南分駐所竣工式。4月1日から業務開始（昼間のみ）

	4月 1日	女性消防隊を38名で編成
	5月20日	第23回土岐市消防操法大会を駄知小学校で開催
	8月 5日	第50回岐阜県消防操法大会が瑞浪市で開催され、泉分団が出場し敢闘賞
	10月 1日	女性消防隊を「ききょう分団」と改名
	10月24日	岐阜県緊急援助隊訓練に参加（各務原市）
	11月11日	消防フェスティバルを開催
14年	1月24日	とき2（水槽付き消防ポンプ自動車）を購入、北署へ配備
	2月27日	豊田市消防本部・土岐市南消防署合同訓練を鶴里町で実施
	3月 2日	第3回春季火災予防剣道大会を開催
	4月 8日	救急救命士東京研修所へ1名派遣、14年9月30日まで
	9月 1日	東海地震想定岐阜県総合防災演習を下石小学校で開催
	9月13日	土岐市ライオンズクラブ記念事業として事務連絡車（ダイハツネイキッド）の寄付を受ける。
	11月10日	消防フェスティバルを開催
15年	2月19日	岐阜県消防長会東濃地区意見発表会を市文化プラザで開催
	2月21日	市危険物安全協会より査察指導車（トヨタプリウス）の寄付を受ける
	3月25日	泉分団中核拠点施設竣工
	4月 1日	岐阜県防災航空隊へ職員を派遣 17年3月31日まで
	11月16日	消防フェスティバルを開催
16年	5月23日	市制50周年第24回土岐市消防操法大会を土岐市総合公園で開催
	8月 1日	第53回岐阜県消防操法大会が下呂市で開催され、駄知分団が出場し優良賞
	8月 4日	消防救助技術東海地区指導会（名古屋市消防学校）
	10月 6日	第9回岐阜県緊急消防援助隊東濃ブロック訓練を土岐市で開催
	11月14日	消防フェスティバルを開催
	12月25日	駄知分団中核拠点施設竣工
17年	3月29日	消防相互応援協定締結（愛知県豊田市・瀬戸市 多治見市・可茂消防事務組合・中濃消防組合各消防長）
	6月29日	土岐市で初めて現場で気管挿管が可能な救急救命士が誕生
	8月 3日	消防救助技術東海地区指導会（名古屋市消防学校）
	8月 7日	第54回岐阜県消防操法大会が不破郡垂井町で開催され、下石分団が出場し優良賞
	11月13日	消防フェスティバルを開催
	12月20日	高規格救急車購入、南消防署へ配備
18年	1月31日	東海環状自動車道消防訓練（豊田市）
	5月28日	第25回土岐市消防操法大会 市総合公園多目的広場で開催
	8月 6日	第55回岐阜県操法大会が市総合公園で開催され、肥田分団が出

場し優秀賞

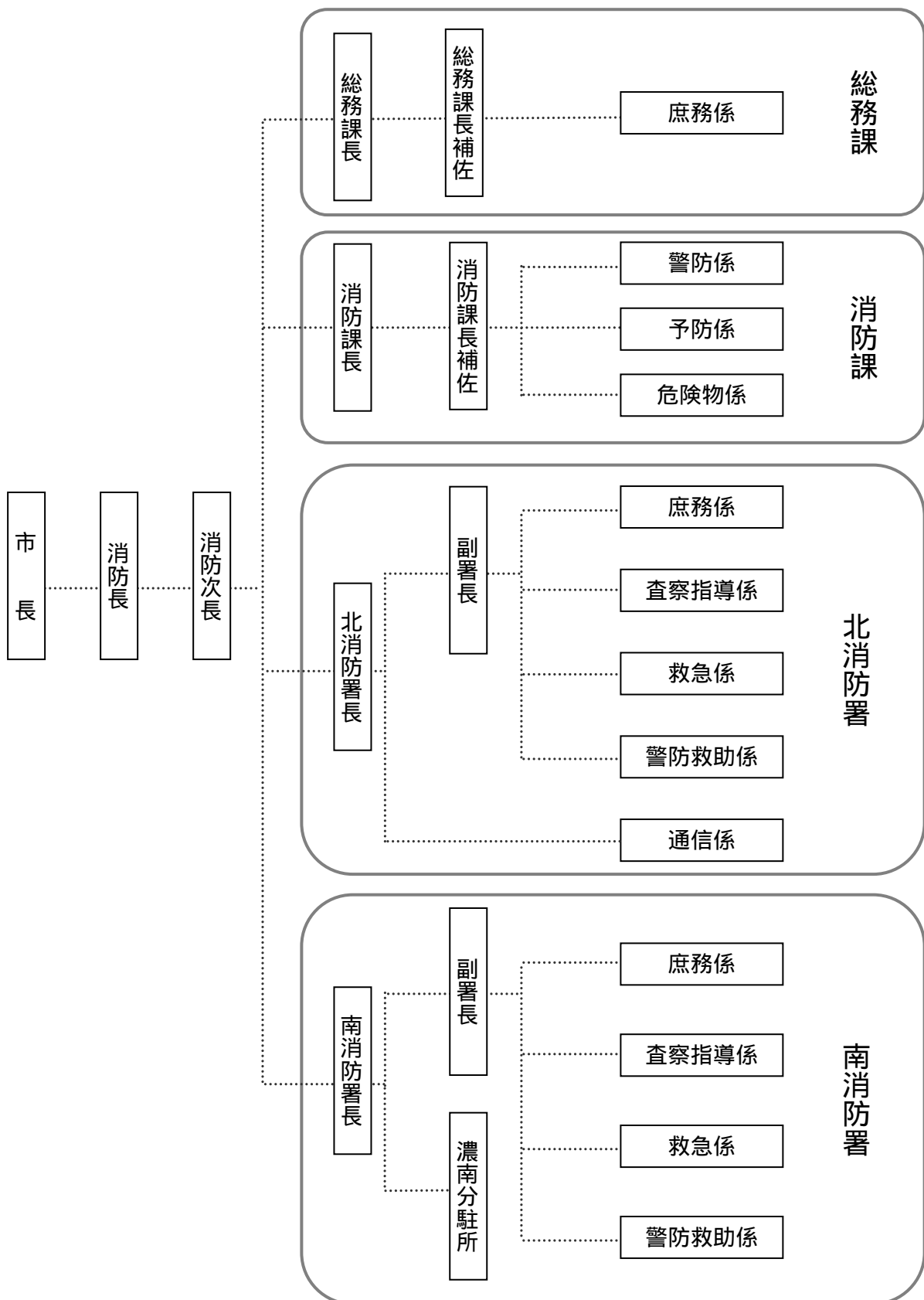
- " 10月18日 土岐市で初めて現場で薬剤（エピネフリン）を投与できる救命士が誕生
- " 11月12日 消防フェスティバルを開催
- 19年 1月31日 東海環状自動車道消防訓練（豊田市）
- " 3月31日 妻木分団中核拠点施設竣工
- " 4月 3日 土岐津分団中核拠点施設竣工
- " 7月 4日 職員1名が気管挿管実習を終え、挿管認定救命士となる
- " 8月 5日 第56回岐阜県操法大会が羽島郡笠松町で開催され、妻木分団が出場し優良賞
- " 10月 3日 職員1名が薬剤追加講習を修了し、実習を終え薬剤救命士となる
- " 11月 6日 岐阜県消防緊急援助隊訓練（土岐市）
- " " 職員1名が薬剤投与の実習を終え、薬剤救命士となる
- " 12月 4日 職員1名が薬剤投与の実習を終え、薬剤救命士となる
- 20年 1月 4日 職員1名が気管挿管実習を終え、挿管認定救命士となる
- " 3月 7日 自治体消防60周年記念式典（日本武道館）
- " 8月 3日 第57回岐阜県操法大会が加茂郡富加町にて開催され、泉分団が出場し敢闘賞
- " 10月 1日 土岐市織部ライオンズクラブから資機材搬送車1台・AED2台寄贈、消防本部へ配備
- " 12月17日 職員1名が薬剤投与の実習を終え、薬剤救命士となる

平成 20 年の主な事業等

平成 20 年	1 月 6 日	消防出初式
	1 月 26 日	文化財防火デー
	2 月 7 日	東濃地区消防職員意見発表会（瑞浪市）
	4 月 10 日	岐阜県消防職員意見発表会（多治見市）
	5 月 25 日	第 26 回土岐市消防操法大会
	7 月 13 日	東濃地区消防操法研修会 中津川市
	8 月 3 日	第 57 回岐阜県消防操法大会（加茂郡富加町）
	8 月 5 日	東海地区救助技術指導会 三重県消防学校
	10 月 1 日	岐阜県警防技術発表会 岐阜県消防学校
	11 月 5 日	岐阜県消防緊急援助隊東濃ブロック訓練
	11 月 10 日	岐阜県救急隊員技術発表会（不破郡垂井町）
	11 月 13 日	愛知県ドクターヘリ瀬戸市合同訓練
	11 月 21 日	救急技術発表会（多治見市）

土岐市消防本部・消防署組織機構図

平成21年4月1日現在



事務分掌

総務課

《庶務係》

消防の企画及び調整に関すること。
消防職員の人事及び服務、研修、福利厚生に関すること。
公印の管守に関すること。
予算及び経理に関すること。
庁舎の管理に関すること。
自主防災組織に関すること。
防災センターに関すること。
他の課の所掌に属さないこと。

消防課

《警防係》

消防計画に関すること。
消防職員の教養に関すること。
火災、その他災害の防御に関すること。
火災救急救助統計に関すること。
消防団事務に関すること。
消防施設の保全及び整備に関すること。
消防車両及び機械器具の整備に関すること。
救急計画に関すること。
特別救助隊に関すること。
消防センターに関すること。
多目的対応施設に関すること。

《予防係》

消防広報に関すること。
火災の原因及び損害の調査に関すること。
火災予防に関すること。
消防同意に関すること。
消防用設備等の設置指導及び検査に関すること。
防火対象物の立入検査に関すること。

《危険物係》

危険物の安全管理及び災害予防に関すること。
危険物の規制に関すること。
危険物製造所等の立入検査に関すること。
危険物の災害調査に関すること。
火薬類の消費の許可(煙火に係るものに限る。)に関すること。

北消防署

《庶務係》

消防署職員(以下「署員」という。)の服務に関すること。
署員の研修に関すること。
署員の福利厚生に関すること。
公印の保管に関すること。
文書に関すること。
庁舎の維持管理及び備品の保管に関すること。
本部との連絡調整に関すること。
防災センターの管理運用に関すること。
自主防災組織等の育成及び指導に関すること。
他の係の所掌に属さないこと。

《査察指導係》

火災の原因及び損害の調査に関すること。
火災の予防及び広報に関すること。
危険物の規制に関すること。
防火対象物の立入検査に関すること。
危険物製造所等の立入検査に関すること。
消防用設備等の設置指導及び検査に関すること。
予防統計に関すること。

《救急係》

救急業務に関する事。
医療機関及び関係機関との連絡に関する事。
救急統計に関する事。
救急用機械器具の点検整備及び管理に関する事。

《警防救助係》

署員の教養訓練に関する事。
火災、その他災害の防御に関する事。
消防団に関する事。
消防地理水利に関する事。
消防車両及び機械器具の点検及び管理整備に関する事。
救助業務に関する事。
救助統計に関する事。

《通信係》

通信の運用に関する事。
通信機器の維持管理に関する事。
火災警報及び気象情報に関する事。
消防全般の統計に関する事。
緊急通報システムに関する事。
防災行政無線の運用に関する事。
消防統計に関する事。

南 消 防 署

《庶務係》

消防署職員（以下「署員」という。）の服務に関する事。
署員の研修に関する事。
署員の福利厚生に関する事。
公印の保管に関する事。
文書に関する事。
庁舎の維持管理及び備品の保管に関する事。

本部との連絡調整に関する事。
防災センターの管理運用に関する事。
自主防災組織等の育成及び指導に関する事。
他の係の所掌に属さない事。

《査察指導係》

火災の原因及び損害の調査に関する事。
火災の予防及び広報に関する事。
危険物の規制に関する事。
防火対象物の立入検査に関する事。
危険物製造所等の立入検査に関する事。
消防用設備等の設置指導及び検査に関する事。
予防統計に関する事。

《救急係》

救急業務に関する事。
医療機関及び関係機関との連絡に関する事。
救急統計に関する事。
救急用機械器具の点検整備及び管理に関する事。

《警防救助係》

署員の教養訓練に関する事。
火災、その他災害の防御に関する事。
消防団に関する事。
消防地理水利に関する事。
消防車両及び機械器具の点検及び管理整備に関する事。
救助業務に関する事。
救助統計に関する事。
通信業務に関する事。

消 防 予 算 の 概 況

(単位千円)

区分 年度	市一般会計	消 防 費						一般会計 との比率
		常備 消防費	非常備 消防費	消防 施設費	水防費	防災費		
1 7	19,200,000	680,789	529,188	82,772	53,404	2,430	12,995	3.5%
1 8	18,037,000	815,429	536,310	79,645	151,995	1,882	45,597	4.5%
1 9	17,844,000	698,877	531,047	75,365	58,347	15,951	18,167	3.9%
2 0	17,974,000	979,032	509,996	59,423	153,710	1,676	254,227	5.4%
2 1	18,552,000	911,340	484,765	78,529	82,317	1,622	264,107	4.9%

年 齢 別 及 び 階 級 別 消 防 吏 員 数

(平成 2 1 年 4 月 1 日 現 在)

階級別 満年齢	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	小 計
	20 歳未満						
20 歳以上 25 歳未満						1 0	1 0
25 歳以上 30 歳未満				5	4	1 5	2 4
30 歳以上 35 歳未満			7	8			1 5
35 歳以上 40 歳未満			4				4
40 歳以上 45 歳未満		1	4				5
45 歳以上 50 歳未満		3					3
50 歳以上 55 歳未満		2					2
55 歳以上	1	4					5
合 計	1	1 0	1 5	1 3	4	2 5	6 8
平均年齢	59 歳	51.4 歳	36.1 歳	30.1 歳	27.5 歳	25.2 歳	

平均年齢..... 3 3 . 0 歳

消防吏員の現況

(平成21年4月1日現在)

区分		階級別	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合計	
		消防本部	消防長		1					
次長				1					1	
総務課	課長				(1)					(1)
	課長補佐兼庶務係				1					1
消防課	課長				1					1
	課長補佐兼警防係				1					1
	警防係					1				1
	予防係(危険物係)				1	1			2	
北消防署	署長			1					1	
	副署長			2					2	
	庶務係				1		1	(2)	2(2)	
	査察指導係			(1)	2	1	1	2(2)	6(3)	
	救急係				1	2		4(2)	7(2)	
	警防救助係				2	1		2(4)	5(4)	
	通信係				1	2		(2)	3(2)	
南消防署	署長			1					1	
	副署長			2					2	
	庶務係				1			3	4	
	査察指導係			(1)	3	3		2	8(1)	
	救急係				1	1		5	7	
	警防救助係			(1)	1	1	2	1	5(1)	
岐阜県防災航空隊派遣										
岐阜県消防学校入校								7		
			1	10	15	12	4	26	68	

()内は兼任

在職年数別消防吏員数

(平成21年4月1日現在)

5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上	計
30	12	7	7	4	2	6	68

平均在職年数..... 10.7年

職員技術資格取得状況

(平成21年4月1日現在)

区 分		階 級	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合 計
自動車運転	大 型		1	6	14	12	4	6	43
	自動二輪		0	4	10	5	2	4	25
陸上無線技師	第2級		0	7	2	2	0	0	11
	第3級		0	0	13	11	4	12	40
小型船舶操縦士	2級		0	3	3	0	0	0	6
技能講習	移動式クレーン操作		1	7	10	6	1	0	25
	ガス溶接技師		0	5	1	0	0	0	6
	足場組立作業主任者		0	3	0	0	0	0	3
	玉掛け技師		0	7	10	6	3	0	26
	第2種酸素欠乏危険作業主任者		0	5	5	0	0	0	10
	高所作業車運転技能		0	3	10	6	0	0	19
救急救命士			0	3	3	3	0	8	17
丙種高圧ガス取扱主任者			0	2	1	0	0	0	3

()内は資格取得予定者の内訳

消防団



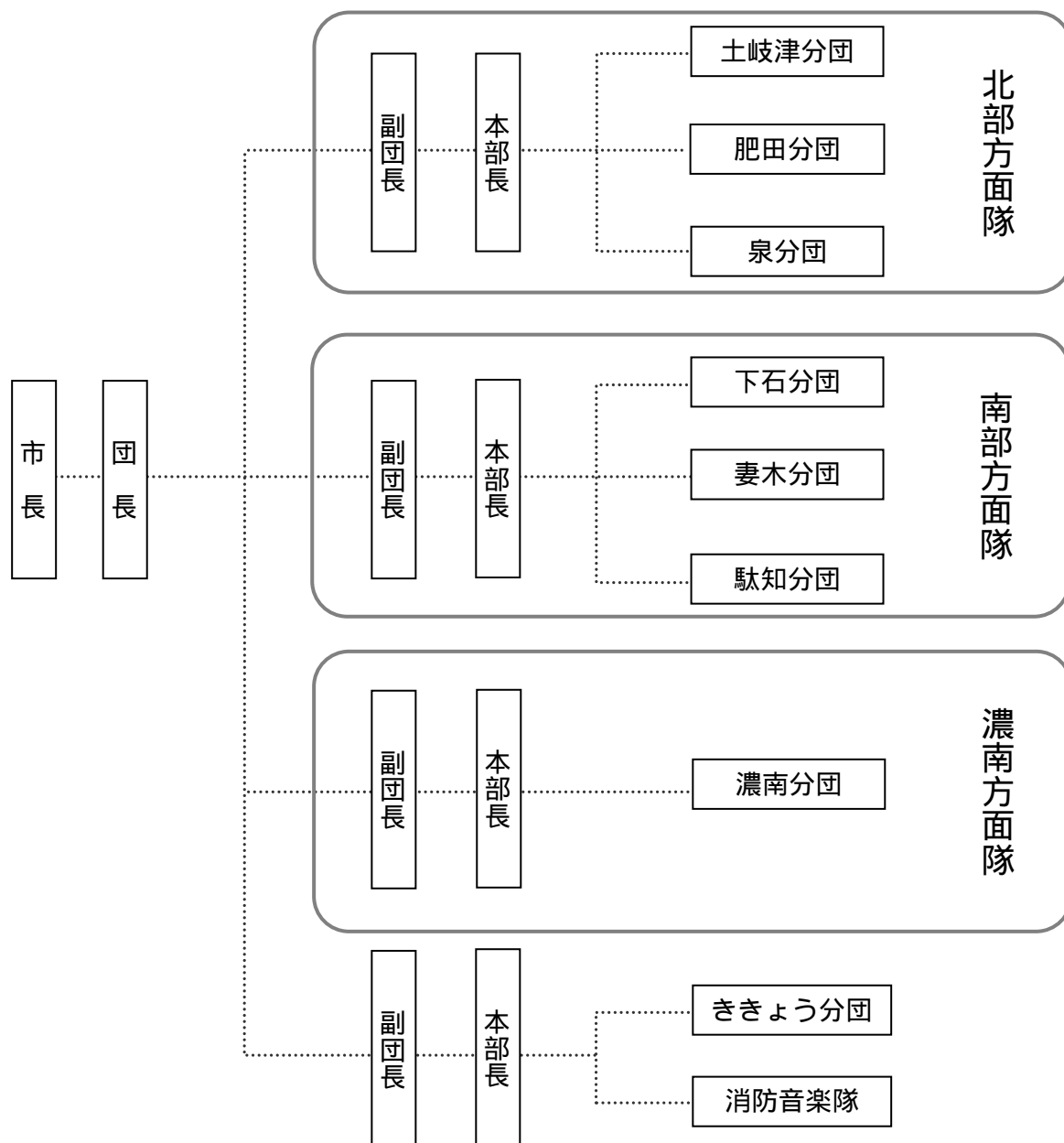
消防団の組織図

土岐市消防団は、昭和36年4月1日土岐市1団8分団に組織を改編し、翌37年5月11日に消防音楽隊を創設、平成13年4月1日女性消防隊(平成13年10月1日にききょう分団と改名)を編成、平成21年4月1日、鶴里分団と曾木分団を統合し、濃南分団として再編し現在に至っています。

以来、郷土愛護の精神で、市民の生命、身体及び財産を火災、その他の災害から保護し被害の軽減を目標に安心して住めるまちづくりに努力しています。

また、火災・風水害の災害時には、消防職員と協力して活動に当たるとともに、平常時には火災予防の広報等地域住民に防災意識の普及と高揚に努めています。

平成21年4月1日現在



年齢別及び階級別消防団員数

(平成21年4月1日現在)

満年齢	階級別	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	小計
20歳未満								5	5
20歳以上 25歳未満							1	66	67
25歳以上 30歳未満							16	135	151
30歳以上 35歳未満							20	106	126
35歳以上 40歳未満							3	9	12
40歳以上 45歳未満						14	8	18	40
45歳以上 50歳未満				6	6	8	5	24	49
50歳以上 55歳未満				5	3		1	3	12
55歳以上		1	4	2				1	8
合計		1	4	13	9	22	54	367	470

在職年数別消防団員数

(平成21年4月1日現在)

5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上	計
290	126	44	5	3	0	2	470

消 防 団 出 動 状 況

種別	火災	風水害等の災害	演習訓練等	救急	救助活動	広報指導	警防調査	火災調査	特別警戒	搜索	予防査察	誤報等	その他	合計
出動回数	4	0	138	0	0	15	0	0	3	0	0	0	32	192
出動人員	136	0	5,362	0	0	490	0	0	956	0	0	0	804	7,748

消防ポンプ自動車等の現有数(消防団)

(平成21年4月1日現在)

消防ポンプ自動車 (B - 1以上)	小型動力ポンプ付 積載車	合 計
10	24	34

ききょう分団

平成13年4月1日女性消防隊（平成13年10月1日にききょう分団と改名）を編成して現在に至っています。

ききょう分団は、各自治会を通しての救急講習会の開催や、独居老人宅を訪問して住宅防火診断の実施など救急法や火災予防意識の啓発活動に活躍しています。



消防音楽隊

土岐市消防音楽隊は、昭和37年に創立して以来41年の実績を有しています。

消防音楽隊は演奏をとおして市民と消防の掛け橋としての役割を演じており、防火思想の普及と高揚に努めています。



警 防

消防車両の配置状況

(平成21年4月1日現在)

区分	名 称	登録番号	登録年月	車 名
消 防 本 部	現場指揮車	岐阜 88 ろ 75-35	平成 10 年 11 月	トヨタ
	防災指導車	岐阜 51 か 49-65	平成 12 年 4 月	ダイハツ
	その他	岐阜 501 さ 77-56	平成 15 年 2 月	トヨタ
	その他	岐阜 41 ん 29-99	平成 10 年 9 月	スバル
北 消 防 署	消防ポンプ自動車	岐阜 88 ろ 23-57	平成 9 年 1 月	三 菱
	小型動力ポンプ付水槽車 10ト	岐阜 88 ひ 14-24	平成 5 年 11 月	日 野
	水槽付消防ポンプ自動車	岐阜 800 は 360	平成 14 年 1 月	三 菱
	高所作業車	岐阜 88 ひ 20-68	平成 9 年 11 月	イスズ
	救助工作車	岐阜 88 ひ 18-74	平成 8 年 8 月	イスズ
	救急車（高規格救急車）	岐阜 800 さ 21-85	平成 11 年 12 月	トヨタ
	救急車（高規格救急車）	岐阜 800 さ 93-86	平成 14 年 12 月	トヨタ
	可搬式消火装置積載自動二輪車	岐阜 1 ほ 64-18	平成 10 年 10 月	ホンダ
	資機材搬送車	岐阜 11 め 24-44	平成 2 年 10 月	日 野
軽資機材搬送車	岐阜 800 あ 525	平成 20 年 9 月	三 菱	
南 消 防 署	消防ポンプ自動車	岐阜 800 さ 51-05	平成 13 年 1 月	三 菱
	化学消防ポンプ自動車	岐阜 88 ろ 78-85	平成 10 年 12 月	三 菱
	水槽付消防ポンプ自動車	岐阜 88 ろ 46-95	平成 4 年 1 月	日 野
	水槽付消防ポンプ自動車	岐阜 88 ろ 34-59	平成 3 年 1 月	イスズ
	救急車（高規格救急車）	岐阜 88 す 83-56	平成 7 年 1 月	トヨタ
	救急車（高規格救急車）	岐阜 800 す 56-10	平成 17 年 12 月	トヨタ
	査察車	岐阜 80 あ 686	平成 6 年 6 月	三 菱
	水防指揮車	岐阜 88 ん 39-29	平成 9 年 5 月	三 菱
	その他（ききょう分団）	岐阜 41 ま 23-21	平成 14 年 10 月	スズキ

基準消防力と現有消防力の比較

「消防力の比較」は、市町村が火災の予防、警戒及び鎮圧、救急業務並びに人命の救助等を確実に遂行し、当該市町村の区域における消防の責任を十分に果たすために必要な施設及び人員について定めたものです。

(平成21年4月1日現在)

区分	基準	現有数	充足率
署所	2	2	100%
消防吏員	171	68	40.4%
消防ポンプ自動車	6	(5)	100%
はしご自動車	1	0	0%
化学自動車	1	1	100%
救急自動車	3	(4)	133.3%
救助工作車	1	1	100%
消防水利	1,805	1,950	108%

消防吏員については、車両の現有台数に対する基準人員
()については予備車を含んだ数



化学消防ポンプ自動車

救助資機材保有状況

(平成21年4月1日現在)

	品名	数量		品名	数量
一般救助用器具	かぎ付はしご	2	呼吸保護用器具	空気呼吸器	27
	金属製折畳梯子(ワイヤー梯子)	3		空気補充用ポンベ	87
	救命索発射銃(空気式)	1		酸素呼吸器	6
	平担架	1		防塵マスク	68
	三連梯子	7		送排風機	1
	空気式救助マット	2		耐電手袋	5
	サバイバースリング(縛帯含む)	5		耐電衣	5
重量物排除用器具	油圧ジャッキ	3	隊員保護用具	耐電長靴	2
	可搬ウィンチ	4		防塵メガネ	8
	マンホール救助器具	1		携帯警報器	5
	救助用簡易起重機	1		防毒マスク	9
	マット型空気ジャッキ	1		化学防護服	16
	大型油圧スプレッド	1		陽圧式化学防護服	1
	油圧切断機	1		耐熱服	4
切断用器具	エンジンカッター	3	水難救助用器具	救命胴衣	15
	ガス溶断機	1		救命浮環	2
	チェーンソー	6		救命ボード	2
	鉄線カッター	9	その他の救助用器具	船外機	1
	空気鋸	1		携帯投光器	9
	大型油圧切断機	1		携帯拡声器	8
	空気切断機	1		携帯無線機	18
高度救助器具	熱画像直視装置	1	応急処置用セット	8	
			車両移動器具	2	
			発電機	11	
			緩降機	1	
破壊用器具	万能斧	4	山岳救助用器具	ロープ登降機	1
	ハンマー	4		バスケット型担架	1
	携帯用コンクリート破壊器具	1			
	ハンマドリル	1			
検知・測定用器具	可燃性ガス測定器	1			
	有毒ガス測定器	4			
	酸素濃度測定器	3			
	放射線測定器	2			

消 防 水 利 の 状 況

消防水利には、消火栓・防火水槽・池・河川等があります。

消防水利の充実は、機械器具の増強とともに消火活動にとって欠くことのできないことであり、整備については計画的に新設するとともに、維持管理に努めています。

消防水利は、市街地又は準市街地の中で工業地域及び商業地域にあっては、100メートル以下に、その他の地域にあっては、120メートル以下に設置するよう基準で定められています。

(平成21年4月1日現在)

計	消 火 栓			防 火 水 槽			
	公設	私設	小計	60トッ以上 100トッ未 満	40トッ以上 60トッ未 満	20トッ以上 40トッ未 満	小計
1,920	1,660	0	1,660	8	116	136	260



防 火 水 槽



地下式消火栓

予 防



防火対象物数の状況

(平成21年3月31日現在)

業 態		区 分	防火対象物数 合 計	5 階 未 満	5 階 以 上
1	イ	映画館・劇場等	4	4	0
	ロ	集会場・公会堂等	31	30	1
2	イ	キャバレー等	2	2	0
	ロ	遊技場・ダンス場等	8	8	0
	ハ	性風俗関連特殊営業	0	0	0
	ニ	カラオケボックス等	3	3	0
3	イ	料理店等	3	3	0
	ロ	飲食店等	73	73	0
4		百貨店等	56	55	1
5	イ	旅館・ホテル等	20	17	3
	ロ	共同住宅・寄宿舍等	100	80	20
6	イ	病院・診療所	26	24	2
	ロ	福祉施設・保育園等	53	51	2
	ハ	養護施設・幼稚園等	11	11	0
7		学校等	84	82	2
8		図書館等	3	3	0
9	イ	熱気浴場等	0	0	0
	ロ	公衆浴場等	1	1	0
10		車両の停車場	1	1	0
11		神社・寺院等	18	18	0
12	イ	工場・作業場	531	531	0
	ロ	映画スタジオ	0	0	0
13	イ	車庫・駐車場	4	4	0
	ロ	飛行機格納庫	0	0	0
14		倉庫	224	224	0
15		事業所等	117	114	3
16	イ	特定複合建物	85	77	8
	ロ	上記以外	10	6	4
16 02		地下街	0	0	0
16 03		準地下街	0	0	0
17		文化財等	0	0	0
合		計	1,468	1,422	46

消防用設備等点検報告実施状況

消防用設備等を設置することが消防法で義務づけられている防火対象物の関係者は、設置された消防用設備等を定期的に点検し、その結果を報告しなければなりません。

消防用設備等は、いついかなる場合に火災が発生しても確実に作動するよう、日頃の維持管理が十分に行われることが必要です。

(平成21年3月31日現在)

業 態	区 分	点検を要する防火対象物			報告済防火対象物			
		総 数	1,000㎡未満	1,000㎡以上	総 数	1,000㎡未満	1,000㎡以上	
1	イ	映画館・劇場等	4	2	2	4	3	1
	ロ	集会場・公会堂等	31	21	10	21	9	12
2	イ	キャバレー等	2	2				
	ロ	遊技場・ダンス場	8	4	4	5	2	3
	ハ	性風俗関連特殊営業	0					
	ニ	カラオケボックス等	3	3		2	2	
3	イ	料理店等	3	3		1	1	
	ロ	飲食店等	73	73		8	8	
4		百貨店・店舗等	56	39	17	30	16	14
5	イ	旅館・ホテル等	20	10	10	13	6	7
	ロ	共同住宅・寄宿舎等	100	58	42	33	15	18
6	イ	病院・診療所	26	18	8	16	8	8
	ロ	福祉施設・保育園等	53	44	9	59	47	12
	ハ	養護施設・幼稚園等	11	6	5	14	13	1
7		学校等	84	40	44	48	17	31
8		図書館等	3	1	2	2		2
9	イ	熱気浴場等						
	ロ	公衆浴場等	1	1				
10		車両の停車場	1	1		1	1	
11		神社・寺院等	18	17	1	3	3	
12	イ	工場・作業場	531	296	235	55	14	41
	ロ	映画スタジオ						
13	イ	車庫・駐車場	4	2	2	1	1	
	ロ	飛行機格納庫						
14		倉庫	224	139	85	18	8	10
15		事業所等	117	63	54	46	25	21
16	イ	特定複合建物	85	59	26	38	21	17
	ロ	上記以外	10	9	1	2	2	
16 02		地下街						
16 03		準地下街						
17		文化財等						
合 計			1,468	911	557	420	222	198

消 防 同 意 状 況

消防機関は、防火の専門家であり、消火活動はもちろんのこと、火災予防行政も行い建築物について計画、設計の段階から防火の面で関与することで、実効のある予防行政が可能になります。

建築物の完成後に、予防査察等により実態を把握することで行政指導も可能ですが、それでは、建築物の所有者に多大な損失をもたらすことになるため、建築物の設計の段階で消防機関が防火の面からチェックすることが必要となります。

(平成21年3月31日現在)

区 分	同意件数			不同意件数
		指導あり	指導無し	
新築	76	3	73	
増築	4		4	
その他	0			
合計	80	3	77	

防火対象物の防火管理者選任状況

消防法第8条では、一定基準以上の人員を収容する建築物の場合、職場の最高責任者である管理権限者は、管理・監督的な地位にあり、一定の資格を持っている人の中から「防火管理者」を選任し、消防署へ届け出ることを定めています。防火管理者は、職場の防火管理に必要な業務を行う最高責任者です。

(平成21年3月31日現在)

業 態	区 分	甲種防火対象物			乙種防火対象物		
		防 火 対象物数	防火管理者 届出済	消防計画 届出済	防 火 対象物数	防火管理者 届出済	消防計画 届出済
1	イ 映画館・劇場等	3	3	3			
	ロ 集会場・公会堂等	22	16	14	8	2	
2	イ キャバレー等	1			1		
	ロ 遊技場・ダンス場	8	7	7			
	ハ 性風俗関連特殊営業						
	ニ カラオケボックス等	1	1	1	2	2	1
3	イ 料理店等	2	2	2	1	1	
	ロ 飲食店等	9	8	6	54	40	31
4	百貨店等	34	32	30	15	9	5
5	イ 旅館・ホテル等	13	13	13	1	1	1
	ロ 共同住宅・寄宿舍等	24	11	7			
6	イ 病院・診療所	14	13	10	1	1	1
	ロ 福祉施設・保育園等	38	36	36	7	7	7
	ハ 養護施設・幼稚園等	8	8	8			
7	学校等	23	23	23			
8	図書館等	2	2	2	1		1
9	イ 熱気浴場等						
	ロ 公衆浴場等						
10	車両の停車場	1	1	1			
11	神社・寺院等	9	8	7	8	5	5
12	イ 工場・作業場	37	26	24			
	ロ 映画スタジオ						
13	イ 車庫・駐車場						
	ロ 飛行機格納庫						
14	倉庫	2	2	2	1	1	
15	事業所等	28	26	24	8	5	2
16	イ 特定複合建物	41	34	31	14	10	7
	ロ 上記以外	3	3	3	2	1	1
16の2	地下街						
16の3	準地下街						
17	文化財等						
合 計		323	275	254	124	85	62

危険物施設数及び予防査察実施状況

(平成21年3月31日現在)

区 分		年 度	施設の総数	検査実施施設数
製造所			1	1
貯蔵所	屋内貯蔵所		10	4
	屋外タンク貯蔵所		69	29
	屋内タンク貯蔵所		57	15
	地下タンク貯蔵所		49	26
	簡易タンク貯蔵所		1	0
	移動タンク貯蔵所		41	36
	屋外貯蔵所		1	0
取扱所	給油取扱所		49	34
	第一種販売取扱所		0	0
	第二種販売取扱所		1	1
	移送取扱所		0	0
	一般取扱所		51	20
合 計			330	166

危険物施設許可・届出状況

(平成21年3月31日現在)

区 分		許 可		完 成 検 査		廃止届
		設 置	変 更	設 置	変 更	
製造所						
貯蔵所	屋内貯蔵所	2		1		
	屋外タンク貯蔵所					
	屋内タンク貯蔵所		1		1	
	地下タンク貯蔵所		1		1	
	簡易タンク貯蔵所					
	移動タンク貯蔵所		5		5	
	屋外貯蔵所					
取扱所	給油取扱所		4	1	4	1
	第一種販売取扱所					
	第二種販売取扱所					
	移送取扱所					
	一般取扱所		1		1	
合 計		2	12	2	12	1

予 防 事 務 処 理 状 況

(平成21年3月31日現在)

種 別		件 数	
消 防 法 関 係	防火管理者選解任の届出	100	
	消防計画作成(変更)の届出	113	
	消防用設備点検結果報告の届出	1,000 m ² 未満	233
		1,000 m ² 以上	197
	消防用設備等着工届出	44	
	消防用設備等設置届出	47	
	液化石油ガス貯蔵取扱の届出	34	
	圧縮アセチレンガス貯蔵の届出	1	
	その他消防活動阻害物質貯蔵の届出	1	
火 災 予 防 条 例 関 係	防火対象物使用開始の届出	49	
	炉・厨房・ボイラーの設置届出	13	
	禁止行為解除申請	21	
	変電・発電・蓄電設備の届出	29	
	ネオン管灯設備の届出	0	
	水素ガスを充填する気球の設置届出	0	
	火災とまぎらわしい煙等の届出	64	
	煙火の打ち上げ・仕掛けの届出	29	
	劇場以外の催し物の届出	3	
	少量危険物貯蔵取扱(廃止)の届出	25	
	指定可燃物貯蔵(廃止)の届出	3	
少量タンク水張り・水圧検査の申請	21		
合 計	1,027		

消 防 広 報

火災のほとんどは、ちょっとした不注意によって発生しており、火災の防止は何と言っても市民の一人ひとりが常に防火意識を持つことが最も必要です。

このような観点から、消防の広報活動については市民参加の防火をモットーに火災のない「明るいまちづくり」を目指して広報活動の充実に努めています。

主 な 広 報 活 動

1. 火災予防運動 春・秋の2回実施される全国一斉の火災予防運動を中心として、文化財防火デー、車両及び山林防火運動を市内全域に展開し、一般市民をはじめ各事業所に防火を呼びかけています。

文化財防火デー	1月26日
春季火災予防運動	3月1日～3月7日
車両・山林火災予防運動	3月1日～3月7日
秋季火災予防運動	11月9日～11月15日

2. 危険物安全週間（毎年6月第1日曜日から1週間）

危険物の保安に関する意識の高揚及び啓蒙を推進することにより、各事業所における自主保安体制の確立を図っています。

3. 広報活動の状況 一般市民、事業所などに対し積極的に広報活動を実施して、火災のない「明るいまちづくり運動」を展開しています。

主な活動として防火研究、映画会、消火実験等を開催して火災予防を図っています。



文化財防火デーの訓練



火災予防運動広報

通 信

消防無線及び火災通報施設の状況

災害等の通報を受信し、各署に指令と地図を送り、また消火活動等を助ける情報や災害現場における情報等、各種の情報を伝達して部隊運用を効果的に行うため、無線・有線設備を活用しています。
(平成21年4月1日現在)

区分		署所別	消防本部	北消防署	南消防署	濃南分駐所	土岐消防愛岐トンネル	合計	
基地局		10W		2	2	1	1	5	
移動局	車載型 10W		3	9	8	1		21	
	車載型 5W			1				1	
	可搬型	10W	1		1	1		3	
		携帯型	10W						
			5W		2	2	1		5
	1W		7	6			13		
有線電話	火災専用電話			7				7	
	IP119専用回線			6				6	
	携帯119専用電話			2				2	
	高速道路専用電話			1				1	
	専用ファクシミリ		1	1	1	1		4	
	一般加入電話		1	4	2	1		8	
	福祉ファクシミリ			1				1	

緊急通報システム受信状況

緊急通報システムは、ひとり暮らしの老人等の急病又は事故等の緊急事態に対処するため、システム機器を設置することにより、日常生活上の不安を軽減して、円滑な援助を行い、独居老人等の福祉の増進を図ることを目的に、平成6年4月から運用を開始しました。

区分	月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
	緊急ボタン	災害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
救急		3	0	4	2	0	2	1	2	2	2	1	2	21
誤報		7	2	3	5	3	1	0	0	0	4	0	1	26
ペンダント	災害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	救急	3	0	3	0	1	0	0	3	0	1	0	0	11
	誤報	5	2	11	3	4	1	1	0	1	0	0	3	31

1 1 9 番 受 信 状 況

計	火 災	救 急	救 助	その他出動	問合わせ	誤作他	試 験
7,694	67	2,117	24	129	219	379	4,759

災 害 覚 知 種 別 状 況

近年、社会経済の高度情報化、高齢化に伴い、消防も新しい事態に対応したシステムを運用し、機動的、弾力的に対応していく必要があります。

覚知種別	災害種別				合 計
	火 災	救 急	救 助	その他	
自 己 覚 知	0	0	0	0	0
消 防 専 用 電 話	14	1,196	3	110	1,323
I P 119 専 用 電 話	1	120	1	14	136
緊 急 通 報 シ ス テ ム	0	31	0	10	41
携 帯 電 話	13	348	9	47	417
一 般 加 入 電 話	5	208	2	19	234
警 察 電 話	0	41	2	7	50
駆 け 付 け 通 報	0	6	0	0	6
病 院 案 内	0	29	0	1	30
そ の 他	3	32	4	39	78
計	36	2,011	21	247	2,315

救急医療情報システム案内状況

救急医療情報システムは、地域情報センター・病院・消防本部をオンラインネットワークで結び、様々な情報を収集しています。

消防本部では、このシステムを利用して病院等の問合せ時に、傷病者の症状にあった医療機関を検索し、救急病院案内として情報を提供しています。

月別 科目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
内 科	167	82	53	55	88	67	64	70	67	42	73	147	975
小 児 科	61	33	31	31	45	33	55	31	22	29	23	51	445
外 科	23	17	17	12	22	20	19	16	18	11	20	13	208
整形外科	8	7	3	13	14	6	14	14	19	19	14	11	142
産婦人科	2	0	0	0	0	2	0	0	0	1	1	1	7
眼 科	1	2	7	3	7	2	6	1	2	1	1	3	36
耳鼻咽喉科	5	0	2	7	8	3	2	6	1	3	3	9	49
皮 膚 科	2	1	6	4	2	9	7	4	5	4	4	5	53
泌尿器科	2	1	1	1	1	3	1	4	5	1	1	3	24
脳神経外科	4	2	0	2	2	1	0	0	2	3	0	1	17
呼吸器科	1	1	0	0	0	0	2	0	0	2	0	0	6
呼吸器外科	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
消化器系	1	0	0	0	1	0	1	1	0	0	1	0	5
循環器科	8	2	0	0	0	2	0	2	0	0	0	0	14
心臓血管外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他	8	6	2	10	8	13	13	17	12	13	9	8	119
合 計	296	155	122	138	198	161	184	166	153	129	150	252	2,104

火災・救急・救助

5年間の火災件数

平成20年中における火災件数は36件で、平成19年の22件と比べ14件の増加となりました。

火災種別では、建物火災16件で平成19年と比較して9件増加、車両火災4件で1件増加、その他火災15件で4件増加、林野火災は1件で同数でした

また、火災による死者は0名、負傷者は7名でした。火災種別でみると、負傷者は建物火災で6人、その他の火災で1人発生しました。

年度 \ 区分		平成 16 年	平成 17 年	平成 18 年	平成 19 年	平成 20 年
火災種別	合計	32	32	20	22	36
	建物火災(うち爆発)	17	18	11	7	16
	林野火災	3	2	0	1	1
	車両火災	4	4	2	3	4
	その他の火災	8	8	7	11	15
建物焼損面積(m ²)		602	1,098	307	5	936
林野焼損面積(a)		1,200	15	0	1	1
建物火災	全焼	4	7	3	0	5
	半焼	2	2	1	0	0
	部分焼(ぼや含む)	11	9	7	7	10
	合計(爆発を除く)	17	18	11	7	15
罹災世帯		20	16	5	3	12
罹災人員		64	40	7	13	38
死傷者	死者	1	3	1	1	0
	負傷者	2	2	1	1	7
損害額(千円)	建物火災	42,410	66,724	13,725	391	25,884
	林野火災	6,531	0	0	0	0
	車両火災	2,120	10,418	2,965	509	13,360
	その他火災	0	995	60	0	176
	合計	51,061	78,137	16,750	900	39,420
出火率(人口一万当たりの出火率)		4.8	5.0	3.1	3.5	5.7
一件当たりの損害額(千円)		1,790	2,442	838	41	1,095
市民一人当たりの損害額(円)		864	1,222	263	14	652

平成 20 年中の火災状況

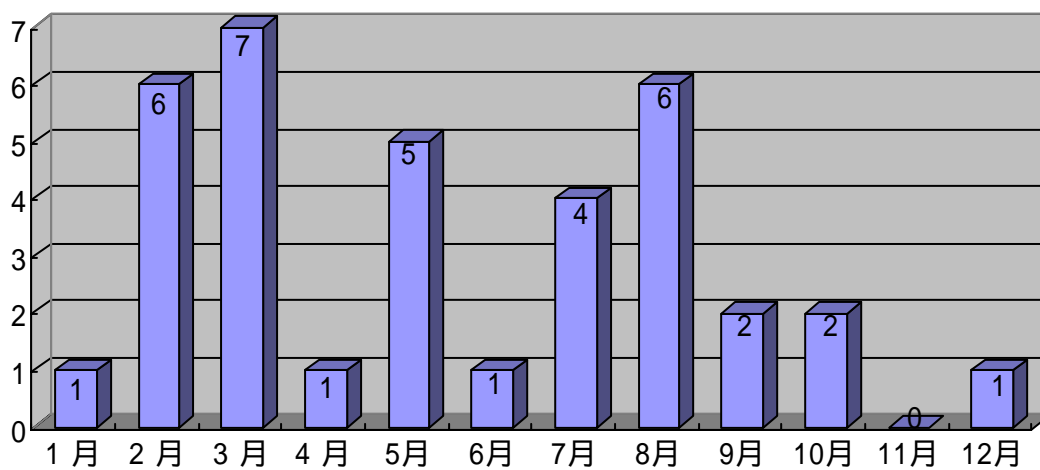
月別では、3月の7件がもっとも多く発生し、次いで2月の6件となっています。

損害額は、39,420千円で平成19年の900千円と比較して38,520千円の増加

	出火月日	出火時分	種 別	発生場所	死 者	負傷者	損害額 (千円)	程 度	焼失面積
1	1月28日	10:20	建物	駄知町	0		4,233	全焼	181 m ²
2	2月4日	23:02	車両	泉町	0		7,126	2台	
3	2月14日	18:30	建物	鶴里町	0		1,000	ぼや	
4	2月18日	4:00	建物	肥田町	0	1	10	ぼや	
5	2月19日	8:37	その他	下石町	0		2		
6	2月22日	9:54	その他	泉町	0		0		248 m ²
7	2月25日	12:10	林野	下石町	0		0		1 a
8	3月4日	16:30	建物	下石町	0	1	1,463	全焼	92 m ²
9	3月6日	10:30	その他	鶴里町	0		0		430 m ²
10	3月11日	15:57	その他	下石町	0		0		43 m ²
11	3月19日	22:15	建物	妻木町	0		6,500	全焼	472 m ²
12	3月22日	15:10	その他	肥田町	0		0		450 m ²
13	3月22日	15:00	その他	泉町	0		0		70 m ²
14	3月23日	9:15	建物	泉町	0		10,140	全焼	116 m ²
15	4月5日	16:25	その他	下石町	0		0		144 m ²
16	5月7日	9:06	建物	駄知町	0	1	8	ぼや	
17	5月16日	20:05	その他	泉町	0		0		2 m ²
18	5月22日	15:30	その他	泉町	0		0		192 m ²
19	5月23日	22:00	建物	下石町	0	1	14	ぼや	
20	5月27日	6:20	建物	曾木町	0		85	部分焼	2 m ²
21	6月15日	18:25	建物	肥田町	0	1	696	全焼	56 m ²
22	7月5日	8:00	建物	泉町	0	1	4	ぼや	
23	7月8日	20:12	車両	妻木町	0		356	2台	
24	7月27日	1:30	その他	妻木町	0		0		1,200 m ²
25	7月27日	14:10	その他	泉町	0		0		288 m ²
26	8月4日	15:05	建物	肥田町	0		5	ぼや	1 m ²
27	8月5日	14:18	建物	下石町	0	1	1	ぼや	
28	8月9日	23:30	車両	土岐津町	0		355	2台	
29	8月19日	12:20	その他	妻木町	0		0		289 m ²
30	8月21日	18:30	その他	土岐津町	0		0		21 m ²
31	8月30日	18:05	その他	曾木町	0		30		1 m ²
32	9月11日	17:15	建物	泉町	0		1	ぼや	1 m ²
33	9月14日	7:30	建物	駄知町	0		265	部分焼	1 m ²
34	10月16日	22:53	車両	泉町	0		5,523	2台	
35	10月20日	0:50	建物	泉町	0		1,459	部分焼	14 m ²
36	12月14日	20:00	その他	肥田町	0		144		26 m ²

月別火災件数

区分 月別	建物 火災	林野 火災	車両 火災	その他 火災	建物焼損 面積(m ²)	林野焼損 面積(A)	損害額 (千円)	全焼	半焼	部分焼 ぼやを含
1月	1				181		4,233	1		
2月	2	1	1	2	0	1	8,138			2
3月	3			4	680		18,103	3		
4月				1						
5月	3			2	2		107			3
6月	1				56		696	1		
7月	1		1	2	0		360			1
8月	2		1	3	1		391			2
9月	2				2		266			2
10月	1		1		14		6,982			1
11月										
12月				1			144			
合計	16	1	4	15	936	1	39,420	5	0	11



曜日別火災件数

区分 曜日	計	建物火災	林野火災	車両火災	その他火災	建物焼損 面積(m ²)	林野焼損 面積(A)	損害額 (千円)	全焼	半焼	部分焼 ぼやを含
日曜日	6	3			3	173		11,245	2		1
月曜日	6	4	1	1		196	1	12,833	1		3
火曜日	7	3		1	3	94		1,907	1		2
水曜日	2	2				472		6,508	1		1
木曜日	6	2		1	3	1		6,524			2
金曜日	3	1			2	0		14			1
土曜日	6	1		1	4	0		389			1
合計	36	16	1	4	15	936	1	39,420	5	0	11

時間別火災件数

区分 時間	計	建物火災	林野火災	車両火災	その他 火災	建物焼損 面積(m ²)	林野焼損 面積(A)	損害額 (千円)	全焼	半焼	部分焼 ぼやを含
0~2時	2	1			1	14		1,459			1
2~4時											
4~6時	1	1						10			1
6~8時	2	2				3		350			2
8~10時	5	3			2	116		10,154	1		2
10~12時	2	1			1	181		4,233	1		
12~14時	2		1		1		1	0			
14~16時	7	2			5	1		6			2
16~18時	3	2			1	93		1,464	1		1
18~20時	4	2			2	56		1,726	1		1
20~22時	3			1	2			500			
22~24時	5	2		3		472		19,518	1		1
不明											
合計	36	16	1	4	15	936	1	39,420	5		11

出火原因別火災件数

原因 月別	たばこ	こんろ	火遊び	たき火	放火	放火の疑い	その他	不明・調査中
1月								1
2月	1			1			2	2
3月	1			3		1	1	1
4月			1					
5月			1	1		1	2	
6月							1	
7月				1			1	2
8月		1		2			2	1
9月		2						
10月						1		1
11月								
12月				1				
計	2	3	2	9	0	3	9	8

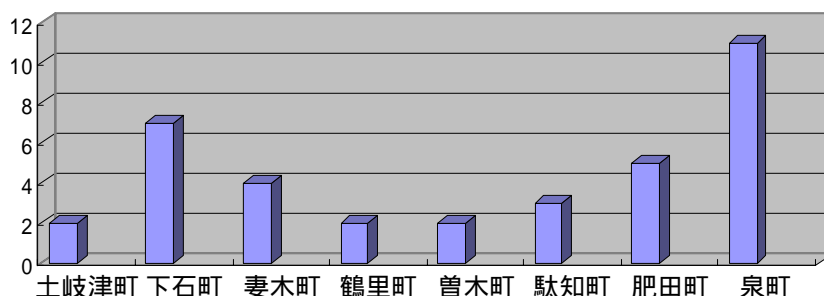
出火原因別損害額

(単位 千円)

原因 月別	たばこ	こんろ	火遊び	たき火	放火	放火の疑い	その他	不明・調査中
1月								4,233
2月	10						1,002	7,126
3月						6,500	1,463	10,140
4月								
5月			14				93	
6月							696	
7月							356	4
8月		5					31	355
9月		266						
10月						1,459		5,523
11月								
12月				144				
合計	10	271	14	144	0	7,959	3,641	27,381

地区別火災件数

月別	町別	土岐津町	下石町	妻木町	鶴里町	曾木町	駄知町	肥田町	泉町
1月							1		
2月			2		1			1	2
3月			2	1	1			1	2
4月			1						
5月			1			1	1		2
6月								1	
7月				2					2
8月		2	1	1		1		1	
9月							1		1
10月									2
11月									
12月								1	
計		2	7	4	2	2	3	5	11



地区別損害額

(単位 千円)

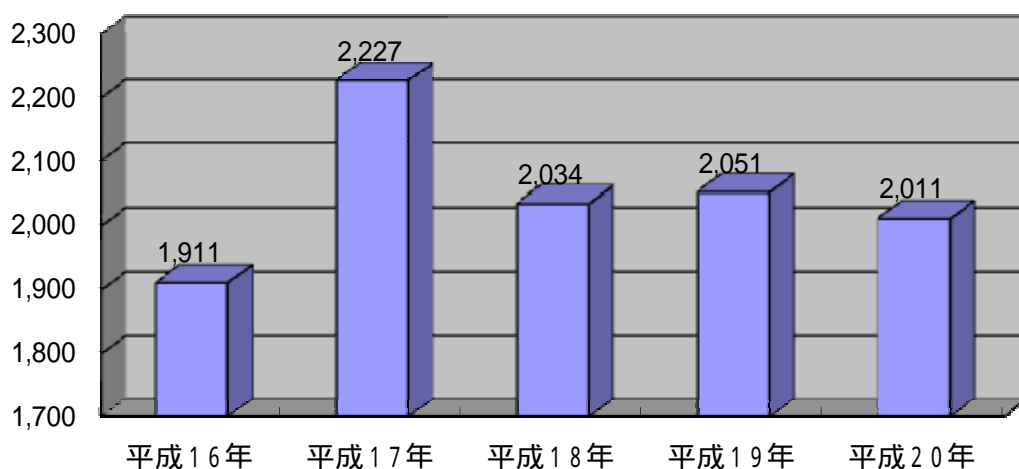
月別	町別	土岐津町	下石町	妻木町	鶴里町	曾木町	駄知町	肥田町	泉町
1月							4,233		
2月			2		1,000			10	7,126
3月			1,463	6,500					10,140
4月									
5月			14			85	8		
6月								696	
7月				356					4
8月		355	1			30		5	
9月							265		1
10月									6,982
11月									
12月								144	
計		355	1,480	6,856	1,000	115	4,506	855	24,253

5年間の救急出動件数

平成20年中における救急件数は2,011件で平成19年の2,051件と比較して、40件の減少となり、これは1日平均約5.5回出動したことになります。

搬送人員は1,930人で市民33人に1人の割合で救急搬送されていることになります。

区分 \ 年度	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年
火災	2	2	2	1	6
自然災害	0	0	0	0	0
水難	1	0	0	0	0
交通事故	259	295	242	234	222
労働災害	29	53	41	36	41
運動競技	15	7	19	19	14
一般負傷	224	286	267	222	268
加害	14	5	7	8	6
自損行為	21	32	23	25	31
急病	1,156	1,356	1,235	1,306	1,211
その他	190	191	198	200	212
合計	1,911	2,227	2,034	2,051	2,011



月別救急件数

種別 \ 月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
火災	0	1	1	0	2	1	0	1	0	0	0	0	6
自然災害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
水難	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
交通事故	17	20	15	18	12	17	19	26	15	21	20	22	222
労働災害	1	7	1	2	1	4	6	1	6	7	3	2	41
運動競技	0	0	2	0	0	0	3	1	2	5	0	1	14
一般負傷	24	23	16	27	20	23	21	19	25	26	17	27	268
加害	0	0	1	0	0	1	1	1	1	0	0	1	6
自損行為	4	1	1	1	8	0	3	3	6	1	2	1	31
急病	128	97	105	84	74	98	86	108	83	124	110	114	1,211
その他	28	12	25	10	19	18	16	12	16	11	22	23	212
計	202	161	167	142	136	162	155	172	154	195	174	191	2,011

地区別救急件数

月別 \ 町別	土岐津町	下石町	妻木町	鶴里町	曾木町	駄知町	肥田町	泉町	管外
1月	34	27	19	4	3	23	30	62	0
2月	19	25	18	7	1	19	26	46	0
3月	34	14	20	3	4	26	18	47	1
4月	23	18	11	8	4	22	15	40	1
5月	22	6	14	6	5	20	17	46	0
6月	39	16	15	2	0	24	15	51	0
7月	31	17	14	7	6	20	17	40	3
8月	40	19	12	2	4	25	17	50	3
9月	22	19	15	5	1	27	18	47	0
10月	43	13	19	7	3	25	24	60	1
11月	34	18	13	3	5	24	21	55	1
12月	32	11	19	4	4	27	34	56	4
計	373	203	189	58	40	282	252	600	14

時間別救急件数

時間別 種別	0時 ~2時	2時 ~4時	4時 ~6時	6時 ~8時	8時 ~10時	10時~ 12時	12時~ 14時	14時~ 16時	16時~ 18時	18時~ 20時	20時~ 22時	22時~ 24時	計
火災	0	0	0	1	1	0	0	1	0	2	0	1	6
自然災害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
水難	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
交通事故	3	3	7	13	28	26	31	26	33	26	18	8	222
労働災害	0	0	0	1	7	9	10	7	3	1	2	1	41
運動競技	0	0	0	0	1	3	2	4	2	1	1	0	14
一般負傷	12	3	5	16	38	35	35	24	32	30	21	17	268
加害	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	1	1	6
自損行為	0	2	1	2	9	4	2	3	2	3	1	2	31
急病	64	46	47	110	150	113	116	110	133	144	106	72	1,211
その他	4	2	1	4	30	47	30	26	30	19	5	14	212
計	84	57	61	148	265	237	226	201	235	226	155	116	2,011

曜日別救急件数

曜日 月別	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
1月	23	25	41	35	26	31	21
2月	29	25	16	16	23	29	23
3月	25	31	18	20	22	21	30
4月	23	15	21	23	14	22	24
5月	18	25	19	18	24	15	17
6月	22	30	28	25	22	17	18
7月	21	27	21	20	21	23	22
8月	30	20	28	24	20	29	21
9月	34	24	27	15	16	12	26
10月	30	20	21	33	28	35	28
11月	25	21	35	26	20	20	27
12月	20	38	32	33	18	31	19
計	300	301	307	288	254	285	276

年 齡 別 搬 送 人 員

月別 年齡別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
0~4歲	5	2	5	4	1	3	3	4	2	7	2	3	41
5~9歲	2	1	1	2	2	1	0	3	1	5	1	4	23
10~19歲	2	2	8	3	6	2	10	9	7	9	3	5	66
20~29歲	8	4	6	6	6	8	13	9	5	14	3	7	89
30~39歲	4	2	4	11	8	14	8	2	15	6	15	16	105
40~49歲	10	22	5	8	8	8	4	10	11	19	11	10	126
50~59歲	12	13	10	14	11	17	19	13	22	14	22	14	181
60~64歲	17	5	5	3	7	7	13	11	8	15	8	7	106
65~74歲	38	30	32	24	22	26	35	30	16	25	27	25	330
75~84歲	53	48	48	34	42	55	29	43	36	54	54	53	549
85~94歲	31	26	28	26	14	14	14	23	25	24	22	36	283
95歲以上	6	3	3	2	2	2	1	2	2	1	2	5	31
計	188	158	155	137	129	157	149	159	150	193	170	185	1,930

性 別 搬 送 人 員

月別 性別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
男	105	95	80	68	76	91	87	80	73	105	101	100	1,061
女	83	63	75	69	53	66	62	79	77	88	69	85	869
計	188	158	155	137	129	157	149	159	150	193	170	185	1,930

応急手当普及啓発活動の実施状況

救急救命士法の制定により救急隊員の行う応急処置が拡大し、救命率も徐々に上がっていますが、現在救急現場において、市民による救命処置があまり実施されていないのが現状です。倒れた人の近くにいる人が直ちに応急処置を行うことで救命が図られ、救命率も向上します。

そのため市民、消防、病院の連携による救命の環の確立を目的として、市民に対する応急手当普及啓発活動の推進を図っています。

年度	区分	普通救命講習		上級救命講習		その他の講習		応急手当 指導員/普及員講習	
		回数	受講人員	回数	受講人員	回数	受講人員	回数	受講人員
平成 16 年		4 1	9 6 9	2	4 8	6 3	1 , 2 8 2	1	6
平成 17 年		3 7	1 , 1 7 3	1	8	4 4	1 , 2 1 4	1	2 4
平成 18 年		4 5	1 , 0 3 8	1	8	4 2	1 , 0 1 0	0	0
平成 19 年		6 5	1 , 4 1 9	0	0	4 8	1 , 1 5 8	0	0
平成 20 年		4 7	9 7 3	0	0	4 4	1 , 3 2 9	1	3



5年間の救助活動状況

救助活動を伴う災害・事故は、火災、交通事故、水難事故、風水害、機械による事故、建物等による事故、その他の事故等があり、これらの事故に対しては、事故の内容や状態に応じた救助活動の原則を熟知していなければ、適切な救助はできません。救助隊に救助を求めるといことは、特別な事故が発生し、悪条件下に要救助者がさらされ、一般の人々では救出できない場合と考えられます。

これらの災害に対応するため、救助訓練を毎月実施し救助技術の向上に努めるとともに、救助資機材の整備を図っています。

区分 \ 年	平成 16 年	平成 17 年	平成 18 年	平成 19 年	平成 20 年
出 動 件 数	25	27	27	29	21
火 災					
交 通 事 故	16	24	22	25	14
水 難 事 故					
自 然 災 害					
機 械 事 故	5	1			
建 物 事 故		1			
そ の 他	4	1	5	4	7
活 動 件 数	15	12	11	16	14
救 助 人 員	14	13	14	18	16

氣象統計



気 象 状 況

気象情報は、災害の予防や拡大防止するという観点で非常に大きな意味を持っています。例えば、風の向きや強さは人員の投入や配置を決める重要な要素となり得ます。また、蓄積された過去の気象データを元に、経験値による災害予測やシミュレーションにも役立てることが出来ます。

区分		月別											
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
風 速	平均 (m/s)	1.9	2.1	2.3	2.2	1.8	1.6	1.6	1.7	1.5	1.6	1.8	1.8
	最高 (m/s)	11.5	11.1	11.3	12.3	8.4	8.6	9.5	8.1	6.5	6.9	8.9	8.5
気 温	平均 ()	2.8	1.8	8.5	13.5	18.1	21.4	26.8	26.4	22.5	16.9	9.9	5.6
	最高 ()	13.7	14.4	21.9	27.9	30.3	30.3	37.5	36.6	32.4	27.3	22.6	18.3
	最低 ()	-7.5	-7.0	-5.5	-1.0	6.8	13.0	19.5	18.5	9.7	6.8	-0.8	-6.3
湿 度	平均 (%)	67.8	68.1	63.8	66.1	74.3	83.7	80.0	82.2	84.6	85.0	81.4	81.3
	最低 (%)	16.0	14.9	8.0	13.1	10.4	26.4	38.3	34.7	28.9	31.7	30.2	30.0
実 効 湿 度	平均 (%)	68.0	68.6	63.8	66.5	72.3	83.5	80.9	81.4	84.6	85.4	81.5	81.5
	最低 (%)	55.1	59.3	56.2	54.6	58.7	72.3	75.3	76.7	77.6	79.5	76.5	78.2
雨 量	降雨日数 (日)	3	3	5	4	1	5	1	3	5	4	4	3
	積算 (mm)	33.5	62.0	114.5	171.0	186.0	244.0	46.0	238.5	167.0	60.5	43.0	36.0
	1日最大 (mm)	12.0	20.5	33.5	38.5	40.0	69.5	20.5	101.0	59.0	21.5	15.5	23.5
	1時間最大 (mm)	2.5	6.5	10.5	8.0	12.0	17.5	20.0	50.0	33.5	3.0	7.0	7.5

降雨日数は1日1mm以上の降雨を観測した日数

年間の気象状況	風 速	気 温	相対湿度	実効湿度	降雨日数	41日
平均	1.8m/s	14.5	76.5%	76.5%	積算雨量	1,402mm
最高	12.3m/s	37.5	-	-	1日最大雨量	69.5mm
観測日	4月18日	7月26日	-	-	観測日	6月29日
最低	-	-7.5	8.0%	54.6%	1時間最大雨量	50.0mm

名 称	電 話	住 所
土 岐 市 消 防 本 部	0572-53-0123	土岐市肥田浅野笠神町 3 丁目 11 番地
土 岐 市 北 消 防 署	0572-53-0119	
土 岐 市 南 消 防 署	0572-58-0119	土岐市下石町 2 0 3 4 番地
土岐市南消防署濃南分駐所	0572-52-0119	土岐市鶴里町細野 2 9 番地の 9 1

発 行

土岐市消防本部
土岐市肥田浅野笠神町 3 丁目 1 1 番地
電話 0572-53-0123
FAX 0572-55-5406